

令和2年度 当初予算 一般会計

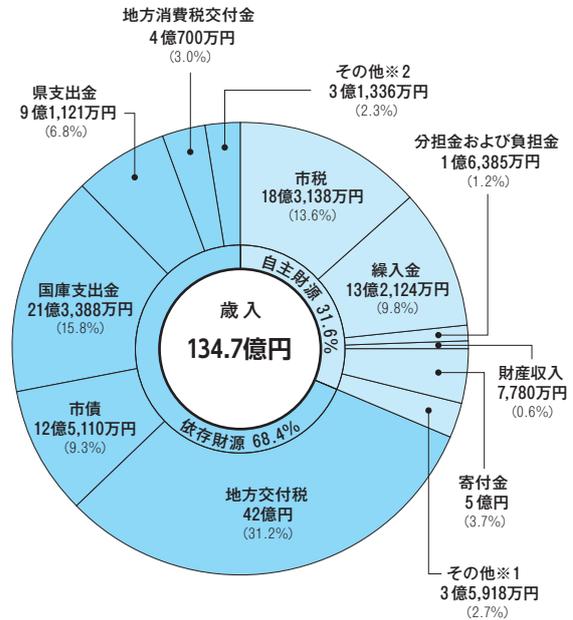
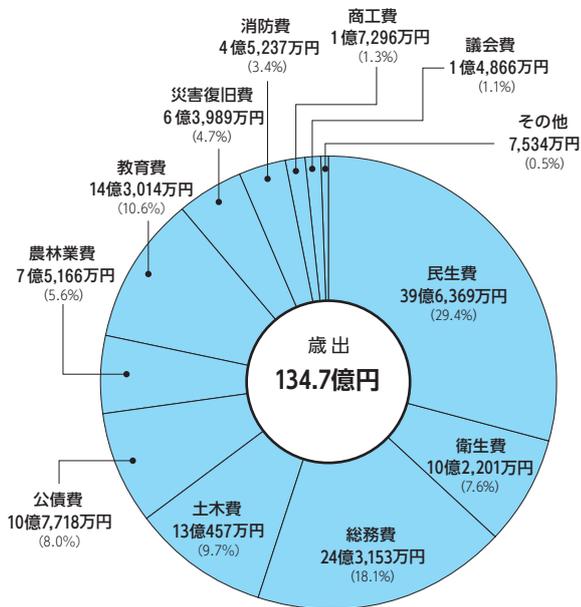
134.7億円

前年度比6.9%増！
過去最大！

令和2年度の一般会計の予算総額は、前年度当初予算と比較して8億7千万円、6.9%の増となっています。

政府の令和2年度地方財政計画では、地方交付税等の一般財源総額は、地方が人づくり革命の実現や地方創生の推進、防災・減災対策などに取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことができるよう、令和元年度を上回る額が確保されています。しかし、地方全体の財源不足額が4.5兆円近くとなり、依然として厳しい状況が見込まれます。

このため令和2年度予算編成にあたっては、市政のさまざまな課題に対する問題意識やコスト意識を高め、新たな発想と厳しい選択によって、限られた財源の中で「何を優先させるべきか」に重点を置き、予算編成を行いました。



- ※1 使用料および手数料、繰越金、諸収入
- ※2 地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金、諸収入、環境性能割交付金、法人事業税交付金

歳出の主な用途

- 民生費…福祉や子育て支援など
- 衛生費…ごみ処理や市民の健康増進など
- 総務費…行政運営、地域振興など
- 土木費…道路、橋りょうなど維持整備や下水道会計への繰出など
- 公債費…借入金の返済など
- 農林業費…農林産業の振興など
- 教育費…学校施設維持整備や教育振興など
- 消防費…消防・防災など
- 商工費…商工業や観光振興など
- 議会費…議会運営など
- その他…災害対策、雇用対策、用地取得など

市税の内訳

区分	予算額
市民税	7億157万円
固定資産税	9億1,714万円
軽自動車税	7,657万円
市たばこ税	1億3,158万円
入湯税	450万円
合計	18億3,138万円

市税では、19万円の減を見込んでいます。内訳としては、市民税が個人分、法人分合わせて2,523万円の減、固定資産税は2,089万円の増、軽自動車税は337万円の増、市たばこ税は107万円の増、入湯税は31万円の減を見込んでいます。

